TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

その子はいと高き方の子と呼ばれる。
ルカによる福音書 1:26-45

2024 年 12 月 21 & 22 日
余沢 武 牧師

I.はじめに

メリークリスマス！　クリスマスには特別な何かがあります。静けさを感じながらも、喜び、そして心温まる何かがあります。クリスマスは神から私たちが受け取った贈り物をお祝いする時です。私達はお互いに贈り物を贈り合うことでこの喜びを表します。

私達はこれまで受け取ったたくさんの贈り物で最初はすごく喜び、わくわくしてきました。しかし、時間が経つにつれてそのわくわく感も薄れます。唯一の例外は、「クリスマスに最初に与えられた贈り物」のイエス様です。その喜びは決して色あせることがありません。しかし、このことを深く考える前に、祈りましょう。

II.いと高き方の子

(1)お話の始まり

ではルカによる福音書 1 章 26-27 節を開きましょう。これはイエス・キリストの誕生のいきさつです。

「六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。ダビデ家のヨセフと言う人のいいなずけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアと言った。」

それは「六か月目に」起きたと書かれています。少し説明させてください。約 2,000 年前、エルサレムの神殿で祭司ザカリヤがひとりで奉仕している時、天は 400 年の沈黙を破りました。

天使ガブリエルが現れ、ザカリヤに彼の妻エリザベトが高齢であったにもかかわらず、息子を産むと告げました。その息子は、「整えられた民」を主のために備えるというのです。そしてその子は「ヨハネ」と名付けられるべきだとも告げられました。天使の言葉通り、エリザベトは妊娠しました。

そしてエリザベトの妊娠「六か月目」に、再び天使ガブリエルが現れました。しかし今度は神殿ではなく、遥か離れたガリラヤの小さな町「ナザレ」に現れたのです。

神は新しいことをしようとしていたのです。

28-30 節「天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。マリアはこの言葉にひどく戸惑って、これは一体何の挨拶かと考え込んだ。すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。」

天使はマリアを「恵まれた方」と呼び、「主があなたと共におられる」と言いました。しかし、マリアは「ひどく戸惑い」ました。彼女は何か大きな変化が自分に起こることを感じ取っていたのです。

(2)その子をイエスと名付けなさい

31-33 節「あなたは身ごもって男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。その子は偉大な人になり、いと高き方の子と呼ばれる。神である主が、彼に父ダビデの王座をくださる。彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」

マリアが「恵まれた方」と呼ばれた理由がわかりますね。エリザベトが高齢で妊娠するという知らせを神殿で天使が告げるだけでも驚くべきことです。この子が神の偉大なしもべとなる運命であることは明らかです。

しかし天使によれば、この 12 歳か 13 歳の処女はもっとすごい息子を産むというのです。

その子の名前は「イエス」となり、それは「神（YHWH）が救う」という意味になります。彼は「いと高き方の子」と呼ばれ、つまり彼が「神の子」だという意味になります。彼はダビデ王の王位を継承する。つまり、彼は 1,000 年前に預言されたメシアなのです！

つまり、この子は救い主となるのです。そしてこの子は神なのです。そして救い主の王であり、彼の王国には終わりがないのです！

（3）神にできないことは何一つない。

34-37 節「マリアは天使に言った。『どうして、そんなことがありえましょうか。私は男の人を知りませんのに。』 天使は答えた。『聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを覆う。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。あなたの親類エリサベトも、老年ながら男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。神にできないことは何一つない。』」

この出来事は創造の時に起こった事を思い起こさせます。創世記 1 章 2 節には、「神の霊が水の面を動いていた。」と書かれています。そして神が言葉を発すると、さまざまなものが存在し始めます。
今、その同じ「神の霊」がマリアのところに来るのです。「神の力」が彼女を覆い、この子が生まれることになります。そしてその子は「神のみ子」と呼ばれるのです。

この天使のお告げは恐ろしいことだったでしょう。しかしマリアはこう答えました。
38 節:「私は主の仕え女です。お言葉どおり、この身になりますように。」そこで、天使は去って行った。

この時マリアはヨセフと婚約していた処女でした。このようなことが彼女に起きた場合、恐らく…彼女は不貞を働いた者として見られるでしょう。ヨセフとの婚約は破棄されることになるでしょう。広く行われていたわけではありませんが、厳密に言うと、彼女は石打ちの刑にされる可能性もありました。たとえ命は助かっても、彼女は生涯、恥ずべき女性として見られたでしょう。また、生涯、経済的に困窮し続けることになったでしょう。

それでも、マリアは神を信頼し、自分の人生の全てを神の御手に委ねることを選びました。もし「なぜ神はマリアを選んだのか？」と疑問に思うなら、その理由はここにあります。彼女は自分にどんなことが起きても、神は「良い方である」と信じていたのです。そして私達も神を信頼し、私達に対する神のご計画に依り頼むことができるのです。
これはクリスチャンの信仰において最も重要でありながら、最も見過ごされがちな側面です。

私はクリスチャンの家庭で育ち、幼いころから日曜学校に通っていました。しかし長い間、私は「キリスト教」というのは、聖書の中に与えられた私達がするべき「正しいこと」のリストを実行することだと思っていました。
しかし私は聖書を本気で読み始め、金持ちの青年の話を読み、その青年がイエスに「私は十戒の全てを守ってきました。永遠の命を受け継ぐには、何をすればよいでしょうか。」と言うところを読みました。その時イエスは彼にこう言われました。

「あなたに欠けているものが一つある。行って持っている物を売り払い、貧しい人々に与えなさい。そうすれば、天に宝を積むことになる。それから、私に従いなさい。」マルコ 10: 21
その青年にはそれが出来ませんでした。そして彼はイエスから離れて行きました。

もしイエスが他のことをその青年に頼んでいたら、彼はそれをしたでしょう。しかし彼が出来つまり彼にはマリアがしたことが出来ませんでした。彼には代替案、つまり神が自分の思う通りのことをしてくれなかった時のためのお金が必要だったのです。

私達はどうでしょう。マリアは言った。「私は主の仕え女です。お言葉どおり、この身になりますように。」

(4)信じた方は、なんと幸いでしょう。

39-45節 「その頃、マリアは出かけて、急いで山里に向かい、ユダの町に行った。そして、ザカリアの家に入ってエリサベトに挨拶をした。マリアの挨拶をエリサベトが聞いたとき、その胎内の子が躍った。エリサベトは聖霊に満たされて、声高らかに言った。「あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子様も祝福されています。私の主のお母様が、私のところに来てくださるとは、何ということでしょう。あなたの挨拶のお声を私が耳にしたとき、胎内の子が喜び躍りました。主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いでしょう。」

聖霊がエリザベトを通して語られたように、祝福された人とは、主が語られたことが、必ずその人に成就することを信じる人のことなのです。主は私たちに次のように語ります。

聖書によると神は私達をご自身の似姿に創造されました。つまり私達は、神を信じ、神の御言葉に従い、神に頼ることを通して神の御姿、神のご性質を表すために創られたのです。

しかし、最初の人間であるアダムとエバは、禁じられた実を食べてはいけない、食べると死ぬ と命じられましたが、神を信じず、神の御言葉に従わず、神に依り頼むことを選ばなかったのです。

聖書は私達もそれらすべてをしてきていると言っています。私達はお金や自分の仕事のキャリアを信頼し、欲望に従い、人に依存する方を選んでいるのです。そしてその結果、神の御姿と御性質を示すことが出来ないのです。これが罪とよばれるものです。聖書は「罪の報酬は死である」と言います。私達は皆、神によって死が与えられてもおかしくない存在です。

これがクリスマスの意味です。だからこそ、救い主であり、王であり、神の子であられるお方が来られたのです。

イエスは私達の救い主として来られました。私達の罪の罰を十字架上で負いました。

イエスは私達の王であり神として来られました。私達が神の赦しを受け入れ、神を信頼し、従い、依り頼むと決めるなら、神は私達の内に聖霊をくださいます。イエスを生んだのと同じ聖霊です。そして、私達の内に新しく「神の子」を創造されます。

その聖霊は、私達の周りで起こるすべての出来事を働かせ、私達が神を信じ、神に従い、神に依り頼むことが出来るよう助けてくださいます。そうすることで、私達は神の似姿と御性質を持つ神の子供として形作られ、神のような良き存在になり、神のような愛を持つ者となるのです。

以前は誰かに失礼に扱われたとき、私達は反撃して自分の尊厳を守ろうとしたでしょう。しかし今、聖霊は私達に、神が守ってくださると信頼し、神の御言葉に従うことを思い出させてくれます。相手を赦し、愛し、その人のために祈ることに集中しましょう。

でも、それをしながら私達は気付きます。そんな攻撃的な人を赦し、愛し、その人のために祈る力を自分は持っていないということをです。

そして相手がどんなにひどい人間かを考える代わりに、自分がどれだけひどいかを見始めるようになります。

そして、相手を変えてほしいと願う代わりに、私達は自分自身を変えてくださいと神に求めるようになります。

私達はこう祈るようになるでしょう。

「神様、助けてください！私はあなたのしもべです。お言葉通り、この身になりますように。」

私達は神に依り頼むことを学び、神は私達の祈りに応えて、人を赦し、愛する人に変えてくださいます。これがクリスマスの贈り物なのです。

聖霊は私達に経済的な問題を与えるかもしれません。その中で神が与えてくださるものに依り頼むことを私達が学べるようにするためです。また聖霊は私達に人間関係の問題を与えるかもしれません。

そのプロセスの中で私達が神の内に希望と必要の満たしを見いだすことを学ぶためです。

何が起きても、私達はいつも神を信頼し、神に従い、神に依り頼み、神が良い方で愛であるのと同じように私達も応答することを学びます。そして、私達は神の似姿と御性質を身につけ始めるのです。そして、私達の内に神の子どもとしての本質が形作られます。

そしていつの日か、私達の新たにされる変化は成就するのです。私達はイエスに助けられ、神の御姿を完全に表すようになります。私達は神の子供として神と共に、永遠に一緒に生きてゆきます。それがクリスマスの究極の贈り物です。

もしあなたがこのクリスマスの贈り物をまだ受け取っていないなら、ぜひ受け取ってください。主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いでしょう。今日、イエスを救い主として受け入れ、神の子供をご自身の内に形作ってもらいましょう。今日、そのようにしてください。

メリークリスマス！

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg5224jp

★クラス 301
私の賜物ってなんだろう？
2025 年 1 月 19 日（日）1pm – 5pm
場所: ランゲホール（B1）
参加条件: クラス 201 まで修了し、TBCメンバーの方
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu